

## 【ポスターセッション】

順番	発表題目	概要	発表者	連名者	会社・機関
1	ばね用冷間圧延オーステナイト鋼板における永久強度の強度差効果とその変形機構の考察	冷間圧延が施された金属材料では引張と圧縮の見かけの流動応力に差が生じる「強度差効果」が発現する。本研究では、ばね用ステンレス材を対象に、永久強度の観点から強度差効果を調査し、画像相関法を用いて変形機構を考察した。	奥原周		法政大学
				小泉隆行	法政大学
2	ばね用鋼線材の永久強度評価	2025年度勉強会「組織変態を伴わない温度領域における物性の変化」の成果として、ピアノ線およびオイルテンパー線を対象に永久強度を評価した。製造プロセスの異なる高強度鋼線材の特性差について考察した。	本川蒼也		法政大学
				野間啓人	法政大学
				奥原周	法政大学
				小泉隆行	法政大学
3	オーステナイト系ステンレス鋼の疲労強度に及ぼす低温ガス浸炭処理の影響	低温ガス浸炭処理を施したステンレス鋼SUS316Lの疲労強度を評価した。その結果、低温ガス浸炭処理を施した試験片は未処理の試験片よりも高強度であった。また、レプリカ法により、微小き裂の発生進展挙動を明らかにした。	坂本光基		青山学院大学大学院
				藤本佳歩	エア・ウォーターNV株式会社
				尾崎徹	エア・ウォーターNV株式会社
				西川晃司	エア・ウォーターNV株式会社
				早瀬知行	青山学院大学
	蓮沼将太	青山学院大学			
4	ベントナイト中鉄鋼の腐食メカニズム解明-周囲のイオン濃度との関係-	鋼材は地層処分場のような低酸素環境下でも用いられる。低酸素環境下であっても、鋼材はネルンストの式から鉄イオンの濃度によって腐食が進行する可能性がある。したがってベントナイト中鋼材と周囲のイオン濃度との関係を検討した。	大関真季		東京電機大学
				齋藤博之	東京電機大学
5	小型ばね鋼SUP12試験片を用いたその場疲労き裂発生・進展観察	懸架用コイルばねを実用する際には、有限寿命設計が採用されている。本研究では、独自に構築した四点曲げ疲労試験システムを用いて、繰返し荷重下におけるばね鋼SUP12の疲労き裂発生および進展挙動をその場観察した。	鈴木貴大		静岡大学大学院
				横山諒亮	静岡大学大学院
				平野詔三	中央発條株式会社
				伊藤秀和	中央発條株式会社
				野々一義	中央発條株式会社
	菊池将一	静岡大学			